

市内57カ所の放射線量率一覧表(保育園・幼稚園・小中学校・高校・公園など)

毎月第2・第4火曜日と同週の木曜日に測定している市内57カ所の放射線量率について、前回との比較ができるよう掲載しています。また、除染状況や取り組み、数字の意味なども随時お知らせします。

※10月9日から新たに、すすく広場の測定を始めました。(単位:マイクロシーベルト/時)

施設名		測定日		測定 の高さ
		9/25・27	10/9・11	
保育園	中央保育園	0.102	0.096	0.5m
	上町保育園	0.150	0.147	
	つつじが丘保育園	0.084	0.102	
	向原保育園	0.088	0.088	
	栄町保育園	0.129	0.135	
	下根保育園	0.139	0.148	
	つばめ保育園	0.106	0.122	
	つばめ保育園牛久駅前分園	0.098	0.094	
	ふたばランド保育園	0.138	0.117	
	つつじが丘ふたばランド保育園	0.092	0.092	
	牛久保育園	0.118	0.113	
	牛久ひかり保育園	0.165	0.165	
	牛久ふれあい保育園分園	0.159	0.163	
	ひたち野うしく保育園つくしんぼ	0.076	0.073	
幼稚園	第二幼稚園	0.132	0.150	0.5m
	かわい幼稚園	0.161	0.144	
	牛久幼稚園	0.125	0.136	
	ひたち野牛久幼稚園	0.137	0.140	
	こばと幼稚園	0.102	0.102	
	フレンド幼稚園	0.088	0.090	
	牛久文化幼稚園	0.113	0.102	
	牛久教会こどものいえ幼稚園	0.092	0.102	
小学校	牛久小学校	0.121	0.123	0.5m
	岡田小学校	0.122	0.167	
	奥野小学校	0.143	0.127	
	牛久第二小学校	0.200	0.190	
	中根小学校・第一幼稚園	0.141	0.140	
	向台小学校・牛久ふれあい保育園	0.127	0.129	
	神谷小学校	0.092	0.127	
	ひたち野うしく小学校	0.147	0.138	

施設名		測定日		測定 の高さ	
		9/25・27	10/9・11		
中学校	牛久第一中学校	0.131	0.139	1m	
	牛久第二中学校	0.169	0.146		
	牛久第三中学校	0.119	0.111		
	下根中学校	0.145	0.138		
	牛久南中学校	0.136	0.148		
高校	牛久高校	0.161	0.142	1m	
	東洋大学附属牛久高校	0.165	0.151		
	牛久栄進高校	0.120	0.111		
その他	こども発達支援センターのぞみ園	0.159	0.140	0.5m	
	神谷小さくら台児童クラブ	0.163	0.172		
	教育センターきぼうの広場	0.188	0.165		
	すすく広場		0.100		
	牛久クリーンセンター	0.171	0.163	1m	
	牛久自然観察の森	0.190	0.179	0.5m	
	公園	ひたち野みずべ公園	0.202	0.202	0.5m
		ひたち野さくら公園	0.086	0.094	
ひたち野おやま公園		0.076	0.067		
刈谷第1街区公園		0.146	0.146		
本町第1街区公園		0.140	0.138		
田宮東街区公園		0.067	0.086		
みどり野第1街区公園		0.083	0.088		
小坂第1街区公園		0.094	0.083		
柏田第2街区公園		0.084	0.075		
栄町第1街区公園		0.065	0.071		
牛久運動公園		0.153	0.161		
牛久運動広場		0.125	0.127		
奥野運動広場		0.155	0.150		

※測定器:エネルギー補償型ガンマ線用シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株))を使用。

※測定の高さ:小学生以下の子どもが多く利用する施設は

※測定器:エネルギー補償型ガンマ線用シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株))を使用。
※測定の高さ:小学生以下の子どもが多く利用する施設は地上0.5m、その他施設は地上1mの高さで測定しています。

■追加被ばく線量の低下のために…
市は「年間1ミリシーベルト以下=毎時0.23マイクロシーベルト以下」を目指します。
(環境省が長期的に達成すべき目標としている値)

※既に除染済みの施設に加え、公園や毎時0.23マイクロシーベルト(地上1m)以上の施設は、順次除染を行う予定です。

●放射線の基礎 [第8回] 「確定的影響と確率的影響」放射線の人体への影響(3)
放射線の健康影響には大きく分けて2種類あります。一つは、脱毛や不妊などある一定以上の放射線に当たると影響が出るもので、これ以上浴びたら影響が出る線量のことを「しきい線量」(「10月15日号広報うしく」を参照)と呼び、脱毛や不妊のような影響を【確定的影響】と呼んでいます。もう一つは、しきい線量が不明確で、被ばく量の大きさによって影響が発生する確率が増えると考えられるもので、癌や遺伝的影響がこれに分類されます。放射線によって遺伝物質のDNAが損傷することがありますが、たいていの場合、傷は修復されます。しかし、修復に失敗して突然変異がどの遺伝子に生じたかによって、将来癌になる可能性があることを【確率的影響】と呼んでいます。
次回は「放射線による細胞への影響」の予定です。